



市民の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。



い よいよ令和の時代に突入しましたね。5月号の表紙とって

も素敵ですね。バラの花びらで「令和」の文字が。色合いといい美しさといい、しばらく眺めておりました。次は何かな？これからも「広報のや」楽しみにしています!!(A・Hさん・56歳・女性)

5月1日に、時代は「平成」から「令和」に変わりました。この「令和」には、一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いが込められているそうです。

5月号(No.320)の表紙では、新しい時代に込められた願いを、市の花「ばら」で表現しました。一人ひとりの個性を互いに認め合い、それぞれの可能性が未来への「beautiful harmony(美しい調和)」につながることを願います。

5

月号のピックアップでは、まだ知らなかった鹿屋の穴場を知ることができて楽しいです。天球館へ初めて行きました。大隅半島から見る桜島も素晴らしいと感動しました。そして、近くに牧場があり、乳牛を見て感動しました。4月から輝北に住んでいます。ウキウキした気持ちになりました。(みんみんさん・55歳・女性)

「今月のピックアップ」では、皆様から寄せられた鹿屋の素敵な写真や面白い写真を紹介しています。テーマは自由で、SNSでの投稿や郵送で応募することができます。ふと、気付いた何気ない日常の風景や、お気に入りのスポーツ等でも構いませんので是非、お寄せください。輝北天球館のある輝北うわば公園は、これまでに7回、日本一星空がきれいに見える場所に選ばれたほか、桜島に沈む夕日が季節ごとに変化する感動のビューポイントです。



▲輝北うわば公園から見た桜島に沈む夕日

鹿

屋タイムトラベルを拡大鏡を片手に拝読いたした折、谷田の滝の写真を見ながら小学3年生の遠足で行った記憶に思いをはせました。ゴールデンウィークで子ども達の帰省時「行こうよ」ということで80年ぶりに行き、雄々しく流れる滝に生命の息吹きを感じました。生きる事は、辛いことも多いですが、この歳になっても感動することを改めて知りました。(長寿ちゃんさん・90歳・女性)

80年振りの「谷田の滝」はいかがでしたか。

江戸時代に薩摩藩が編さんした三国名勝図会にも描かれている「谷田の滝」の特徴は、川の浸食によりできた罅穴群が発達していることです。

自然が長い年月をかけて作った奇抜な形の石のアーチは見る人を魅了し一見の価値があります。

また、その幻想的な風景を見ていると、時間を忘れ、日頃悩んでいることが、すごく小さなことのように感じてしまいます。

豊かな感性と行動力のある長寿ちゃんさん、いつまでもお体に気を付けて元気にお過ごしください。

3

人の地域おこし協力隊が今年3月までの任期を満了して退任となりましたね。地域や自らの将来のため、それぞれの持ち味と個性を鹿屋のまちづくりに反映されたのではないかと感じました。これからも大変な事があるかもしれませんが、時には鹿屋のことを思い出しながら、それぞれの道を進んでほしいと思います。(Y・Kさん・41歳・男性)

市では、平成26年度からこれまで16人の地域おこし協力隊員を受け入れ、現在は、観光やスポーツ分野で3人の協力隊員が活動しています。

本市に移住してきた隊員だからこそ気付け「鹿屋の魅力や資源」を自らの経験等を通して地域に還元し、元気を与えてくれます。また、誰よりも人や地域を知るために努力する姿勢には頭が下がります。

退任した13人の協力隊員、そして、現在、活動中の3人の今後の活躍にもご期待ください。

かのやばら園・霧島ヶ丘公園



アジサイとバラの2番花

これからの時期のばら園は、早咲き品種のバラから順番に2番花が咲き出し、同時に30品種1,200株のアジサイも楽しむことができます。